

出演者紹介



はちまん正人

1963年 名古屋市に生まれ、5歳よりピアノを始める。1989年、世界デザイン博の、コンピューターミュージックに出演。これをきっかけにプロ活動を開始。ソロピアノを中心に、能笛・芝居・現代舞踊・尺八・打楽器等の異ジャンル演奏との共演で独自の即興ピアノスタイルを確立。総合舞台プロデュースも手掛け、音楽を中心としたそれらの活動はさらに拡がりを見せている。ジャンルを問わないスタンダード曲を、即興演奏表現を念頭に、テクニカルで情緒的、且つ自由な表現はドラマティックピアノリストとして唯一無二の存在を作り上げる。

鈴木幹夫とほこ・あ・ほこ

60年代から70年代のフォークブームの中で、自らも演奏していた鈴木と諏訪が時を経て、子どもの所属する学童保育で知り合って結成。1994年のことである。

初ステージは学童保育のチャリティーコンサートだった。代表曲は「梓川」「常念岳」。

現メンバーでの活動は11年前から。鈴木の子を中心に歌っている。

「ほこ・あ・ほこ」とはスペイン語で「少しずつ」「一歩ずつ」という意味です。

芳賀陽

鹿児島短期大学音楽部音楽科卒。

ソプラノ歌手として音楽を通して、オペラ「藤戸」、名古屋二期オペラ「ドン・ジョバンニ」他、チャリティーコンサート、ジョイントコンサート等、日進市近隣地区・名古屋市にてコンサート開催、出演多数。

コール陽だまり、おひさまシンガーズ指導者、歌声ひろば主宰、そして車椅子グループ(ハッピーマップ)にて活動。1996年バリアフリーレストラン「アニバーサリー」を立ち上げ、代表を務める。2016年3月、日進市から転居、熊本県菊池市に在住。

ゆったり工房&きぼうメンバー

精神疾患のため生活のしづらさをもちながら、やさしい街で暮らしたいという願いをもって、明るく元気に活動しています。

メンバーたちは、このコンサートを通して「病があっても障害があっても人として地域で暮らしていける」という実感をもつことができている。

これからも、地域の人と共に活動の輪を広げながら、豊かな未来のために、大切な社会資源として、希望をもって歩んでいきたいと思っています。

— ゆったり工房・きぼうって？ あじさいコンサートって？ —

「ゆったり工房」は、日進市で精神疾患の為、社会的な生きづらさを抱えている人たちが地域の中で自立した生活を送れるように活動しています。就労継続支援B型事業所、「ゆったり工房（日進市三本木町）」「スローカフェゆったり（日進市立図書館）」の事業を展開しています。

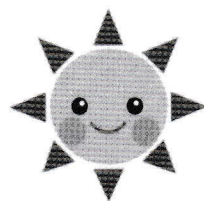
「きぼう」は、精神障害者の日中活動の場として、みよし市に開設した地域活動支援センターです。

あじさいコンサートは、地域で障害者が「やさしい街で暮らしたい」という思いを実現していくために毎年開催してきました。21回目になる今年のコンサートでは、次なる思いを胸に、夢や笑顔をお届けします。そしてこれからも“希望”が輝いていくような、やさしい街づくりをめざしていきます。



交通

- ☆名鉄バス「蟹甲」
下車 徒歩2分
- ☆名鉄豊田線「日進駅」
下車 徒歩15分
- ☆くるりんバス「市民会館」下車
- 【日進駅発車時刻】
 - ・12:35(南コース左回り)
 - ・12:46(南西コース)
 - ・12:48(中コース左回り)
- 【赤池駅発車時刻】
 - ・12:31(南西コース)
 - ・12:15(南コース)



問い合わせ: ゆったり工房
日進市三本木町廻間118-4
TEL/FAX: 0561-74-1943

日進市民会館
駐車台数: 230台
日進市折戸町笠寺山62-3
TEL: 0561-72-0955

案内図